



岐阜県鋳工業指数(平成23年3月分)

生産指数 前月比 3.7%の低下

1 概況

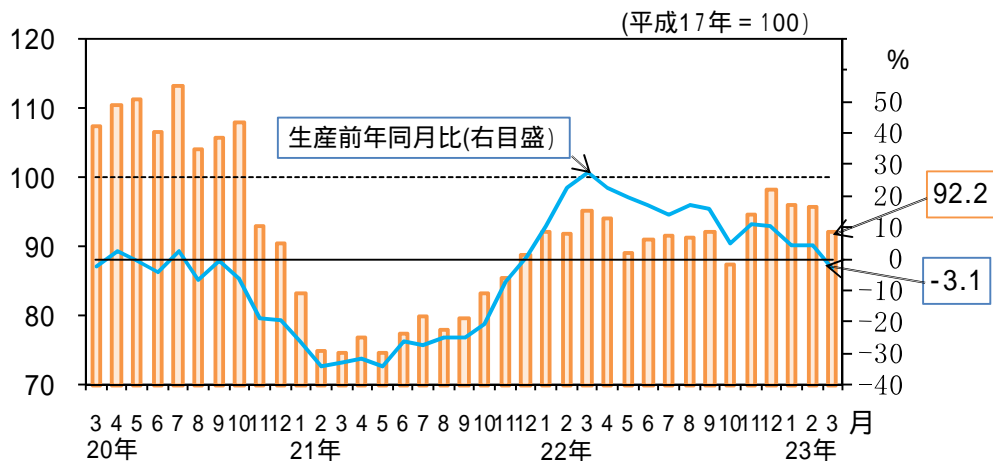
平成23年3月の県内鋳工業の動向を季節調整済指数で見ると、電子部品・デバイス工業、一般機械工業等が上昇したものの、輸送機械工業、金属製品工業等が低下したため、前月に比べ生産指数は3.7%減と3カ月連続で低下した。また、出荷指数は2.6%減と低下に転じ、在庫指数は2.4%増と前月に引き続き上昇した。

なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は3.1%減となり、16カ月ぶりに前年を下回った。

(平成17年=100)

区 分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	92.2	3.7	94.7	3.1
出荷	95.8	2.6	99.7	0.9
在庫	111.0	2.4	107.2	2.7

鋳工業指数(生産)推移



注: 指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、超硬チップ、橋りょう等が増加したものの、ボルトナット、アルミサッシ等が減少したため、9.5%減と低下に転じた。また、出荷は14.0%減と低下に転じ、在庫は8.6%増と前月に引き続き上昇した。

機械工業の生産は、電子回路基板、旋盤等が増加したものの、乗用車ボデー、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が減少したため、6.9%減と3カ月連続で低下した。また、出荷は2.7%減と低下に転じ、在庫は4.6%増と前月に引き続き上昇した。

窯業・土石製品工業の生産は、ガラス製品（容器類）セメント等が増加したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、特殊炭素製品等が増加したため、4.3%増と上昇に転じた。また、出荷は8.8%増と5カ月連続で上昇し、在庫は3.3%減と6カ月ぶりに低下した。

化学工業の生産は、活性炭が増加したものの、医薬品、無水酢酸等が減少したため、2.9%減と3カ月連続で低下した。また、出荷は2.1%減と前月に引き続き低下し、在庫は4.4%増と前月に引き続き上昇した。

プラスチック製品工業の生産は、ホース（プラスチック製）パイプ等が増加したものの、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム等が減少したため、2.2%減と前月に引き続き低下した。また、出荷は5.0%減と前月に引き続き低下し、在庫は6.2%増と前月に引き続き上昇した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)	指 数	前 月 比 (%)	前年同月比 (%)
金属製品工業	92.5	9.5	6.9	89.4	14.0	10.5	90.9	8.6	1.9
機械工業	89.8	6.9	4.6	100.4	2.7	2.8	124.0	4.6	0.7
一般機械工業	90.2	5.3	16.8	106.4	1.1	21.1	-	-	-
電子部品・デバイス工業	123.6	49.6	35.8	124.7	48.8	35.1	-	-	-
輸送機械工業	59.5	48.2	51.6	59.6	44.4	47.2	-	-	-
窯業・土石製品工業	84.3	4.3	17.1	87.5	8.8	9.2	81.8	3.3	4.0
化学工業	120.7	2.9	6.7	113.9	2.1	9.0	105.4	4.4	4.5
プラスチック製品工業	99.4	2.2	3.8	102.3	5.0	4.4	92.2	6.2	6.1

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

